

平成26年度 同好会事業報告

総合的な学習を考える会 同好会 世話係名 花形 敏郎 会長名 前田 博展

月 日	実施した事業内容	参加人員
8月1日	きなこ作りの教材研究と野山を歩き、植物や鳥についての学習会	18名

「上高井の総合的な学習を考える会」の今年度の夏期研修会では、「子どもの体験する世界を味わおう」ということで、教師自らが自身の体を通して感じ、考える活動を計画しました。

午前中は、高甫小学校で、大豆からきなこを作る活動に取り組みました。作り方についてほとんど提示はせずに、活動する中で、自身が思ったことや考えたことを記録してもらいました。先生方でも「炒る時にフライパンにどのくらいの大豆を入れたらいいのか」「どのくらいの時間炒っていたらいいのか」など、一つ一つが試行錯誤だったようです。いざ炒った大豆を摺る時にも、「どの道具を使うか」「すり鉢から豆が飛び出さないようにするにはどうするか」「どの大きさのすり鉢を使えばやりやすいか」等々、多くの課題に対して、自分なりのやり方で試してみる活動ができました。自分の願うきなこになってきた時の思わず没頭する体験やうれしさを味わうこともできました。学校の畑で大豆を育てて調理する活動は、多くの学校で実践されていることだと思います。子どもたちが大事に育てて実った、思いのこもった大豆を使っのきなこ作りを考えた時、その活動の中で子どもたちが何を学んでいくのか、学ばせたいことのためにどこまで教えるのかなど、自分の体験を通して考えを深めるよい教材研究の場になりました。また、活動の中でなかなか動き出さない子どもにとらえ・見方も、違ってくるのではないかと思います。

午後は、講師の先生を二名お招きして、野を一緒に歩きながら、生息する植物や鳥のことを詳しく教えていただきました。今まで「鳥がいる」としか認識できていなかったものが、わずかし離れていない集落の周辺や畑の中でも、生息している鳥が異なることを教えていただき、早速子どもたちに伝えたいなという気持ちになりました。

これからも、自分の体験を通して学びを考えることを大事に、活動をしていきたいと思ひます。

(会長 前田 博展)